

「単独荷卸しに係る運行管理者研修会」の開催状況について ～コロナ禍における新たな開催形態の運用開始～

事故防止調査研修センター

「単独荷卸しに係る運行管理者研修会」の新たな開催形態である出前出張研修（オンライン受講併設）の運用を令和3年度から開始いたしました。

コロナ禍においては、3密を避けるため開催会場における収容人員の1/3から1/2までの受講者しか受講できません。また、勤務場所等から研修会場までの移動も気になるところです。

このようなことから、3密を避け、できるだけ多くの方に受講していただけるように、出前出張研修の会場と受講者の勤務場所とをビデオ通話機能で接続し、リアルタイムで受講できるようにいたしました。出前出張研修（オンライン受講併設）のイメージを図1に、実施状況を写真1に示します。

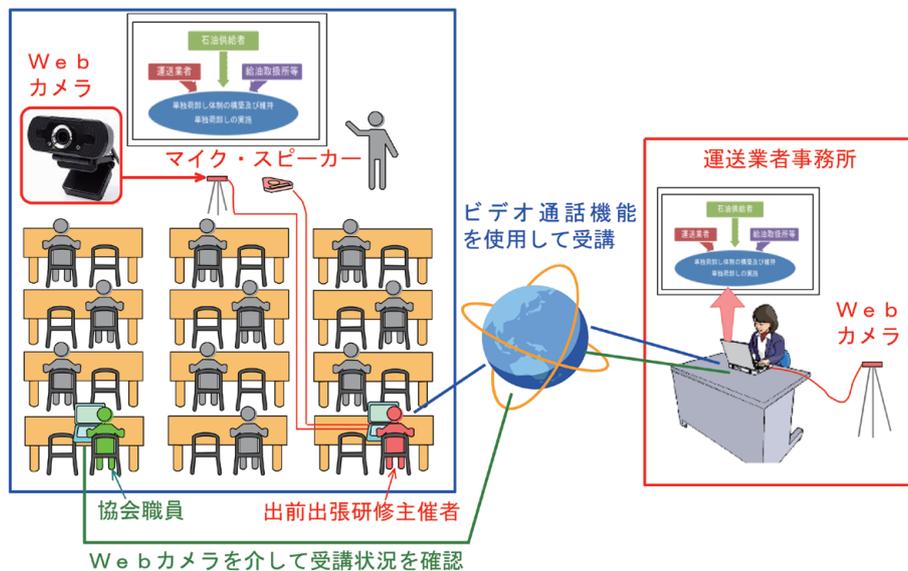


図1 オンライン受講併設の研修会のイメージ



写真1 オンライン受講併設の研修会の実施状況

写真1に示すように講師は奥の壁掛けディスプレイを介して、受講者が問いかけに対して挙手するなどの受講状況を把握します。

併せて、研修会事務局である協会の職員は、手前の机上のノートパソコンを介して各事業所における受講者が確実に受講しているかについて確認し、否である場合にはビデオ通話機能を活用して是正に努めます。

また、図2に示すように出前出張研修を本社の会議室で開催し、ビデオ通話機能で接続された支店会議室（出前出張研修の開催会場と別会場）でもリアルタイムで受講することができます。写真2に別会場におけるオンライン受講の状況を示します。

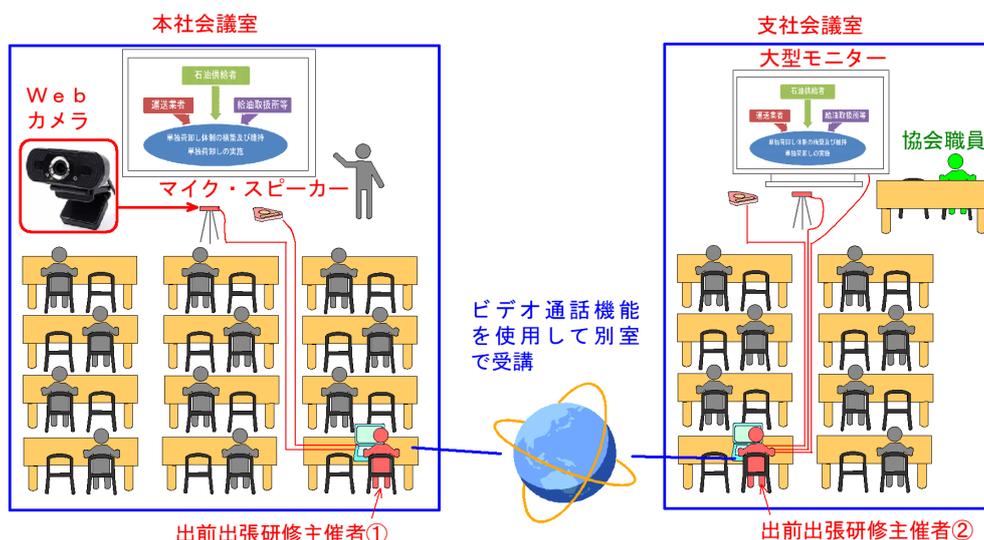


図2 出前出張研修の開催会場と別会場におけるオンライン受講併設のイメージ



写真2 別会場におけるオンライン受講の状況

写真2に示すように別会場で受講者は、プロジェクターを介して出前出張研修をリアルタイムで受講することができます。

別会場には、研修会事務局である協会職員が常駐し、受講者の受講状況を確認します。

オンライン受講は、ビデオ通信機能を活用して行っていることから、研修会場で受講する場合と比較すると、音声やビデオ映像の質が下がるというデメリットはあるものの、冒頭にお示しましたように新型コロナウイルスの感染拡大防止という見地から非常にメリットの多い開催形態ですので、どうぞご活用下さい。

なお、本年度7月末時点で単独荷卸しに係る運行管理者研修会の出前出張研修を4回開催しており、このうち2回がオンライン受講併設となっております。

また、集合研修につきましても7月15日(木)に危険物保安技術協会(東京都港区)で第1回の開催をしており、第2回は10月5日(火)に同会場での開催を予定しております。